# うさぎ山こども園での1日のスケジュール

## 幼稚園の部 3・4・5歳児
8時30分～17時

8:30 順次登園
9:00 あそび（朝の会・児午睡）
「選択遊び」「外遊び」
「散歩」など
11:30 昼食
13:00 帰りの会
14:00 順次降園
17:00 ～預かり保育

## 保育園の部 3・4・5歳児
7時～19時

7:00 開園（順次登園）
8:30 自由あそび
9:00 あそび（朝の会・児午睡）
「選択遊び」「外遊び」
「散歩」など
11:30 昼食
13:00 午睡
15:00 おやつ
16:00 帰りの会（順次降園）
18:00 延長保育
19:00 閉園

## 保育園の部 0・1・2歳児
7時～19時頃

7:00 開園（順次登園）
9:30 おやつ（朝の会）
10:00 あそび
「発達に合った遊び・散歩」
11:00 昼食
12:30 午睡
15:00 おやつ
16:00 帰りの会（順次降園）
18:00 延長保育
19:00 閉園

### 開所時間

●**幼稚園部**：平日（月～金）……9:00～14:00
（8:30～登園受け入れ）
預かり保育‥8:00～8:30／14:00～17:00
土曜日／休み

●**保育園部**：平日（月～金）……7:00～18:00
延長保育……18:00～19:00
土曜日……7:00～17:30

### 休　日

●**幼稚園部**：土曜日、日曜日、国民の祝日
夏季：8月11日～8月20日まで
冬季：12月28日～1月6日まで
春季：3月27日～3月31日まで

●**保育園部**：日曜日、国民の祝日、年末年始

### 食　事

主食費、副食費を徴収

●**幼稚園部**：月～金／4500円（主食費900円含む）徴収

●**保育園部**：【3歳以上児】
月～土／5400円（主食費900円含む）徴収
【3歳未満児】
月～土／完全給食

### 特別保育

●障がい児保育　●延長保育　●預かり保育
●一時預かり保育　●子育て支援事業



「信じる心」

子どもだからと決めつけるのではなく、
「子ども自身の自ら育とうとする力を信じ、
子どものありのままを受け止め、信じる」

そんな心で子ども一人ひとりと
向き合いたいと思っています。




社会福祉法人 江和会
うさぎ山こども園

〒695-0017　島根県江津市和木町518-1
TEL（0855）54-1425
FAX（0855）54-1424
https://www.usagiyama.com




好きでつながる、こどもの縁。

# うさぎ山こども園

◆当園の案内パンフレット◆



うさぎ山こども園



うさぎ山こども園は
一人ひとりが輝くこども園です。
一人ひとりの違いを受け止め、
信じあい、楽しむことを
大切にしています。

## 保育理念

**「新しい時代にたくましく生きる
豊かな人間性のある子どもを育てる」**

子ども一人ひとりが自分らしく、輝いていられる保育を創造します。

## 子ども像

子どもの成長の中で、乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を築く大切な時期です。樹木で例えると大切な根っこの部分を育んでいる時期です。将来どんな試練があろうとも、折れることのない幹の太いたくましい樹のような人に育つよう、うさぎ山こども園では子どもたちの根っことなる部分をしっかり健やかに育んでいくため、「4つの子ども像」を目指します。



### 定員（認可定員、利用定員）

【幼稚園部】
25名（3歳～5歳）
【保育園部】
80名（0歳～5歳）

### 保育料

【幼稚園部】
市の定める1号認定保育料の額
【保育園部】
市の定める2号・3号認定保育料の額

### 入所年齢

【幼稚園部】
満3歳以上（4月1日現在）
【保育園部】
生後57日から

## ◆うさぎ山こども園が目指す4つのこども像◆

### その1 一人ひとりの「特性」に応じた保育

子ども一人ひとり異なる特性を持っています。
その異なる特性の違いを認め、一人ひとりを丁寧に見て、子どもの成長する発達段階にふさわしい生活や活動を十分に経験させてあげることがとても大切です。



こども像　自分を好きになれる子ども

### その2 人との「かかわり」を大切にする保育

子ども同士での遊びを通じて豊かな想像力を育てると共に相手の気持ちになって考える力を身につけます。さらに自分の感情や意思を相手に表現する体験を通して道徳性や社会性の基盤を育みます。



こども像　人の喜びを喜べる子ども
（思いやりのある子ども）

### その3 子どもの「主体的」な活動を促す保育

こども園は大切な乳幼児期におけるお子様をお預かりし、生涯にわたる人格形成の基礎を培うために子ども一人ひとりが自立した人間として社会と関わり合う力、未来に生きる力を育むことに努めていく場にしたいと思います。



こども像　自ら課題を見つけ、考えて行動する子ども

### その4 食を「営む力」を大切にする保育

子どもが生活と遊びの中で、意欲を持って「食」に関わる体験を積み重ね、「生きる力」を培うことができる環境づくりと食事を楽しみ合う子どもたちに成長していくことを目指します。



こども像　意欲をもって「食」に関わる子ども

## うさぎ山こども園のステキなポイント

### 異年齢児保育

**年齢にこだわらず、多くの選択の機会を用意。**

「学び合い」「育ち合い」のため、生年月日などにこだわらず、発達課題に合った体験がでているようにクラス分けします。自発的な活動を生む環境で異年齢保育によって課題ごとに「子ども集団」をつくって保育します。一人ひとりの発達課題に合わせて「選択の機会」を多く用意しています。

下の子の面倒を見たりなど、自発的な集団形成を促します。



### ゾーン保育

**子どもの学びに興味関心をもてる空間をつくる。**

「学ぶ」空間の中に、子どもたちのその時の興味関心に応じた「ゾーン」を設けることで、子どもたちは自ら遊びを選択し、満足するまで集中して遊び、興味を深め活動の幅を広げていきます。乳児の部屋では、体を動かして遊ぶゾーンと静かに遊ぶゾーンを設けたり、幼児の部屋では、季節や時期、子どもの活動に合わせたゾーンを設けています。

子どもたちの活動に合わせて、集中して遊べる環境を整えています。



### チーム保育

**様々な保育者が子どもと関わり、体験の機会を増やす。**

うさぎ山こども園では、0・1歳児、2歳児、3・4・5歳児、とそれぞれの職員がチームを組んで保育にあたっています。リーダーを様々な保育者が行うことで、各自得意な分野や個性を活かした保育が行われます。決まった保育者からの決まった保育ではなく、複数の保育者からの様々な体験が可能になり、遊びを楽しみ、協力し合うことができるようになります。

職員で連携を取り、子どもたちが様々な体験をできるようにしています。



### 食　事

**セミバイキング方式の食事で、食の関心を高める。**

食べる空間＝ランチルームを設けています。子どもが食事に対して自然と興味をもてるよう、ランチルームから厨房の様子がのぞけるようになっています。食事はセミバイキング方式で、自分の食べられる量を知るため、何をどのくらい食べるのか、だれとどの席で食べるのか、子ども自身で意思決定できるような環境を設けています。

食事を通して、子どもたちの食への関心が高まるように工夫をしています。

